

公益社団法人日野市シルバー人材センター
平成30年度事業計画

I 平成29年度の状況

平成29年度は、平成29年6月20日開催の第68回定時総会において理事10名、監事1名が改選され、新たな役員体制が発足しました。国の方針である『働き方改革』が本格的に動き出したことから、シルバー人材センターのあり方が問われることに鑑み、当センターとしては適正就業に重きを置いて事業を推進しました。

適正就業の推進によって、請負から労働者派遣に移行した契約、新たな労働者派遣契約、請負になじまないために終了した契約がありますが、総じて事業は順調でした。

平成28年7月にスタートした労働者派遣事業は順調に推移しており、都内58のシルバー人材センターにおいても受託件数が1、2を争うほどの実績を残すことができました。

次に、会員数については、平成22年度末の1,733人をピークに、平成26年度末の1,521人を底として平成27年度から徐々に回復することができ、平成29年度末には1,607人になっています。これからも就業先の確保に努め、さらなる会員増強を図り、地域貢献を目指すセンターとして、高齢社会における重要な役割を果たしてまいります。

II 基本方針

今年度、公益社団法人日野市シルバー人材センターは、その前身である日野市高齢者事業団の発足（1979年（昭和54年）2月16日）から40周年の佳節を迎えます。センターはこれまで同様、会員の知識・経験を活かし、就業並びに社会奉仕活動を通じて活力ある地域社会づくりに寄与すべく、次の基本方針のもと事業計画を策定しました。

- (1) 基本理念の一層の理解と浸透に努め、組織の発展と強化を図る。
- (2) 高齢者に適した就業機会を拡大し、社会参加を促進する。
- (3) 対外広報を積極的に展開し、事業の認知度向上および会員の増強を図る。
- (4) 会員相互の交流を促進すると共に、地域活動の活性化と充実を図る。
- (5) 就業および組織活動における安全管理を強化する。

Ⅲ 事業実施計画

1 就業機会の拡大と提供

(1) 既存事業の拡大

日野市との連携により更なる理解と支援を得て、公共事業の就業機会の拡大に取り組みます。また、市内事業所、一般家庭への就業開拓体制を強化して、就業機会を拡大します。さらに、対外広報活動の強化などで独自事業の拡大を図ります。

(2) 新規事業開拓への取り組み

会員アンケート調査の結果、就業先および職種の多様化を求める声が圧倒的に多いことが明らかになりました。それらの要求に応えるために、新たな事業や就業先開拓に取り組みます。

- ア 介護予防・新総合事業の周辺事業の開拓
- イ シニア向け事業（家庭向け事業、独自事業）の新たな仕事の開拓
- ウ 人材派遣事業による就業先開拓
介護施設、保育施設、スーパーマーケット、生産ラインの仕事など

(3) 女性会員の就業機会の拡大

女性会員を増やすために、女性会員が魅力を感じ、就業しやすい仕事を増やします。

- ア 家事援助事業の拡大
- イ 日常生活支援総合事業の拡大
- ウ 手芸品製作販売事業の育成
- エ 上記（2）新規事業開拓
- オ 事務系仕事の開拓

(4) 適正就業および人材派遣事業の推進

2016年7月に開始した人材派遣事業は、適正就業（法令遵守）の観点から受注できなかった仕事を中心にして、順調に受注実績を伸ばしており、都下58センターの中で指折りの実績をあげています。引き続き、就業開拓チームによる積極的な活動を展開します。また、既存の契約のうち、請負になじまないものを人材派遣に移行するように努めます。

(5) 高齢会員が就業できる仕事の開拓

会員アンケートの集計結果によると、何歳まで働きたいかの問いに、「働ける限り」と答えた人が33.3%にのぼり、これに「75歳」以上「85歳」までの回答を単純

に加えると、85%にもなり、多くの会員が働き続けることに強い意欲を持っていることが明らかになりました。会員ニーズに応えるため学童保育、介護予防（生活支援）など、高齢会員が得意にする事業分野の就業先開拓や事業の開拓に取り組めます。

（（2）参照）

2 会員の増強

(1) 会員増強対策

会員の獲得は年々厳しさを増しており、センターの魅力などを強く訴えて会員獲得競争に臨む必要があります。会員増強はセンターの事業にとって決定的に重要であり、会員増強対策を実施していきます。

会員増強対策

- ① 入会者を増やす対策の強化
- ② 就業機会を拡大する対策の実施
- ③ 会員交流の促進

(2) 入会者を増やす対策の強化

入会者を増やすための対策を強化します。

- ア 会員募集チラシ全戸配布（年間2回）
- イ 女性限定入会案内説明会の開催（年間3回）
- ウ シルバーいきいき祭り開催、まちづくり市民フェア等への出展
- エ ホームページのリニューアル（改良）
- オ 「広報ひの」の活用
- カ 対外広報誌の発行
- キ 対策の追加

(3) 会員交流促進と組織活動の強化

会員アンケート調査では、「センターに入会して、どんな点が一番よかったですか」の問いに、「友人や仲間ができた」等、会員の交流を挙げた会員が、42.5%に達しています。現役を退いた高齢者にとって、会員交流はセンターの魅力を増す大事な要素であることから、次の会員交流を進めます。また会員向けの情報発信を充実させ、組織活動の強化に努めます。

- ア 女性会員交流会
- イ 就業会員交流会・会議（職種別、職場別）
- ウ 地域班のイベント開催など
- エ 会員情報誌「月刊さわやか」の充実

(4) 共助的組織の研究

会員交流の究極的な発展形が互助会や共助会と呼ばれる会費制の組織です。大切な取り組みとして、引き続き構想の研究を行います。

3 地域活動の充実

(1) 社会奉仕活動の多様化

社会奉仕活動の積極的な展開と多様化に努めます。

- ア 小学校防犯パトロール
- イ 市立小学校・中学校のあいさつ運動
- ウ 東京マラソン会場ボランティア
- エ 高齢者見守り支援
- オ 市内他団体との交流

(2) 市内美化運動

市内美化のための清掃を実施します。

- ア 多摩川・浅川クリーン作戦（4月、5月）
- イ 全地域班一斉清掃（7月、10月）
- ウ 公園、駅周辺、道路清掃

(3) 地域班の活性化

会員アンケート調査では、地域班会議のあり方について抜本的な見直しを求める声が数多くありました。寄せられた声に向き合い、具体的な改善策を提示、実行していきます。

- ア 地域班活動の活性化
- イ 地域班会議の内容充実

4 安全就業

(1) 事故発生件数を減らすための取り組み

「安全はすべてに優先する」をモットーに、就業途上および就業中の安全確保に努めます。事故件数の更なる減少を目指して下記を実施します。

- ア 職場の安全巡回の実施
- イ 危険予知講習会、作業機械等取扱い講習会の開催

ウ 安全就業基準自己チェックの実施

(2)交通安全対策

就業途上の事故撲滅を目指して、自転車運転および高齢者ドライバー対象の交通安全教室を開催します。また、総会を利用して、日野警察署による交通安全講話を実施します。

(3)安全意識の醸成

就業期限確認書を交付する際に安全管理委員長の安全講話を行い、就業における事故の未然防止と安全就業への意識向上に努めます。また、会員の体力と健康の過信を防ぐために下記を実施します。

- ア 就業会員向け「体力測定会」
- イ 健康診断受診等に関する情報の提供

[各委員会の取り組み]

○総務委員会

- ・会員アンケート集計結果の内容分析と実施
 - a) 会員を増やすには
 - b) 退会会員を減らすには
 - c) イメージアップ策
- ・就業選考運用方法の見直し及び民間職場の就業期限導入の検討
- ・新入会員研修、入会案内等の日常業務の遂行
- ・各委員会と連携し、各種プロジェクトへの取り組み
- ・規程、要綱等の整備

○事業委員会

- ・月次実績、就業応募状況の分析
- ・新規就業先開拓に向けた取り組み
- ・会員の所有する資格・技能・技術を活用した新規事業の検討
- ・職群事業の運営支援
- ・職場グループ交流会開催

○地域委員会

- ・地域班の活性化
- ・地域班会議の内容充実
- ・清掃活動の拡大
- ・小中学校「朝のあいさつ運動」拡大

- ・スクールガードボランティア
- ・高齢者見守り支援の拡大

○女性委員会

- ・女性限定入会案内説明会の開催（年3回）
- ・女性委員会だより発行（年3回）
- ・市民向け講習会の開催
- ・女性会員交流会
- ・日野市健康交流事業・日野市老人クラブ連合会とのコラボレーション

○広報委員会

- ・月刊さわやかなの発行
- ・対外向けセンター広報冊子の刊行
- ・ホームページの管理・改良
- ・市内イベントへの出展（シルバーいきいき祭り、まちづくり市民フェアなど）
- ・センターPRグッズの制作
- ・「広報ひの」による宣伝活動

○安全管理委員会

- ・安全対策推進員向け「危険予知講習会」の実施
- ・自転車運転ほか交通安全に関する取り組み
- ・就業会員向け「体力測定会」の実施
- ・健康診断受診等に関する情報提供の充実
- ・作業機械等の取り扱い講習会の充実